



令和 8 年 9 月 17 日
海事局船舶産業課

「造船業界における AI・ロボティクス普及に向けたシンポジウム」を開催します！
～AI・ロボティクスの最新動向をふまえ、造船業の未来を考えます～

国土交通省では、造船業における生産性の向上や技術力の継承を図り、少ない人手による船舶の安定的な供給体制を構築するため、AI 造船ロボット等の技術開発を推進しています。この度、造船業界における AI・ロボティクスの活用に向けた機運醸成を図り、その取組を推進するため、「造船業界における AI・ロボティクス普及に向けたシンポジウム」を開催します。

1. 背景

現在、造船業界では深刻化する人手不足への対応と抜本的な生産性向上が急務となっており、AI・ロボット技術をいかに現場に実装していくかが重要な鍵を握っています。

国土交通省では、こうした課題解決に向け、内閣府の「研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)」のもと、「AI の活用による次世代造船所の実現に資する技術開発事業」において、建造工程の自動化・省人化を実現する AI 造船ロボットの開発や社会実装に向けた取り組みを推進しています。

本事業の一環として、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所と株式会社日本能率協会コンサルティングが共同で、AI・ロボット技術の最新動向や他産業における活用事例を共有し、我が国造船業の将来像を展望するシンポジウムを開催します。

2. 開催概要

日時：2026 年 10 月 6 日（火）13:30～17:30

会場：東京コンファレンスセンター・品川（大ホール）
（オンライン配信も併せて実施します。）

主催：国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
株式会社日本能率協会コンサルティング

後援：国土交通省

3. プログラム

○基調講演

- ・尾形 哲也 氏 早稲田大学基幹理工学部表現工学科 教授・
一般社団法人 AI ロボット協会 理事長

○事例・技術発表

- ・ 勇崎 雅朗 氏 ジャパンマリンユナイテッド株式会社 生産技術本部長
- ・ 池田 潤 氏 ソフトバンクロボティクス株式会社 事業推進統括
FMDX 事業推進統括部 統括部長
- ・ 無藤 里志 氏 株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部シニアアドバイザー
兼インダストリアルプロダクツビジネスユニットモノづくり統括

○進捗報告

- ・ 藤本 浩明 氏 川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部
ソーシャルロボット事業戦略部 特別主席

○パネルディスカッション

※詳細は別添をご覧ください。

4. 報道関係者の皆様へ

本シンポジウムでは、造船業界における AI・ロボティクスの最新動向や今後の展望について、学識経験者、造船事業者、ロボティクス関連企業等が一堂に会し議論を行います。ぜひご取材いただき、広くご紹介いただけますと幸いです。

参加をご希望の方は、以下の URL または QR コードより専用ページへアクセスのうえ、お申し込みフォームにて必要事項をご入力いただき、事前登録をお願いします。

※お申し込み期限は、2026 年 9 月 30 日(水)です。

※参加費は無料です。

専用ページ URL : <https://www.jmac.co.jp/topics/shipbuilding-ai-robotics.html>

QR コード



本シンポジウムに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社日本能率協会コンサルティング 造船 BRIDGE プロジェクト シンポジウム事務局

Tel : 03-4531-4307 Fax : 03-4531-4301

E-Mail : shipbuilding-ai-robotics@jmac.co.jp (広報担当 : 豊島涼子宛)

URL : <https://www.jmac.co.jp/>

※お問い合わせの際は「造船シンポジウムの件」とお申し付け・ご明記いただけますようご協力をお願い申し上げます。



【担当】

海事局船舶産業課 担当者名 大西、新井
代表 : 03-5253-8111 (内線 43627、43626)
直通 : 03-5253-8634 (直通)

造船業界

における

AI・ロボティクス

普及に向けたシンポジウム

※画像はAIによるイメージです

参加料
無料

2026

10/6 火

13:30 ~ 17:30

— 対象 —

- 造船・船用・海運関連企業の経営層や技術開発担当の方々
- ロボット導入・自動化に取り組む方々
- AI・ロボティクス関係企業（スタートアップを含む）の方々

会場参加

東京コンファレンスセンター・品川

〒108-0075

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 3F-5F

オンライン参加

Zoom ウェビナー

主催：国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
株式会社日本能率協会コンサルティング（JMAC）

後援：国土交通省

セミナーの目的

現在、造船分野では人手不足への対応や生産性の向上が喫緊の課題となっており、AIやロボット技術を現場にどのように取り入れ、活用していくかが問われています。

国土交通省においては、「研究開発と Society5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE)」の一環として、深刻な人手不足に対応し、我が国造船業の抜本的な生産性の向上や高度な技術力の継承を図るため、建造工程における自動化・省人化を実現する AI 造船ロボットの開発を推進しています。

本シンポジウムでは、上記 BRIDGE の一環として、AI・ロボット技術の活用事例や最新動向を共有するとともに、造船分野における将来像や今後の発展の方向性について展望します。

当日は、AI・ロボティクス分野の有識者による基調講演に加え、造船分野のみならず他産業における先進的な取組についてご紹介します。さらに、パネルディスカッションでは、AI・ロボット技術の実装に向けた課題や、次世代の造船所に求められる要素について、多様な視点から議論を深めます。

造船業界をはじめ、AI やロボット技術に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム (調整中のため、変更の可能性がございます)

13:30	主催者挨拶・事業紹介		
	来賓挨拶 国土交通省 海事局 大臣官房技術審議官 今井 新 氏		
13:50	基調講演	Physical AIの発展とデータエコシステムのアプローチ 一般社団法人AIロボット協会 (AIRoA) 早稲田大学基幹理工学部表現工学科 教授 / 一般社団法人AIロボット協会 理事長 尾形 哲也 氏	
	技術発表 A	造船所が目指すAI・ロボティクスー現場の知識を、産業の資産にー ジャパンマリンユナイテッド株式会社 生産技術本部長 勇崎 雅朗 氏	
	技術発表 B	DXの次は、フィジカルAI。～人とロボットがともに働く現場へ～ ソフトバンクロボティクス株式会社 事業推進統括 FMDX事業推進統括部 統括部長 池田 潤 氏	
	技術発表 C	モノづくりDXの進化とフィジカルAIの融合 株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部シニアアドバイザー 兼 インダストリアルプロダクツビジネスユニットモノづくり統括 無藤 里志 氏	
	進捗報告	造船AIロボットの開発状況と今後の展望 川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部 ソーシャルロボット事業戦略部 特別主席 藤本 浩明 氏	
15:20	休憩		
15:30	パネルディスカッション		
16:30	閉会挨拶		
16:40	リアルネットワーキング(自由参加:情報交換会現地参加者のみ)		

お申し込みはこちら▶

特設サイトURL：<https://www.jmac.co.jp/topics/shipbuilding-ai-robotics.html>

株式会社日本能率協会コンサルティング

お問合せ：shipbuilding-ai-robotics@jmac.co.jp

